

第12回独立行政法人都市再生機構業務実績評価有識者会合 議事概要

1. 日時

令和8年6月22日(月) 13:00～15:00

2. 会議形式

中央合同庁舎第3号館6階都市局局議室(東京都千代田区)

3. 主な出席者

〈外部有識者〉	中 井 検 裕	東京科学大学名誉教授
	井 上 由起子	日本社会事業大学専門職大学院教授
	大 森 有 理	弁護士
	小 松 哲	公認会計士
	樋 野 公 宏	東京大学大学院工学系研究科教授
〈国土交通省〉	宿 本 尚 吾	住宅局長
	中 田 裕 人	都市局長
〈都市再生機構〉	石 田 優	理事長
	田 島 満 信	副理事長
	辻 次 賢 二	理事長代理

4. 議事

(1) 令和7年度における業務実績評価について

- ①理事長ヒアリング及び自己評価について
- ②主務大臣評価(案)について

5. 議事概要

(1) 議事(1)①について

- 都市再生機構(以下「機構」という。)の令和7年度における業務実績の概要等について、理事長からヒアリングを行った。
- 機構の令和7年度における業務実績に係る自己評価について、機構から説明がなされ、外部有識者から質疑応答が行われた。
- 外部有識者から、今後の機構に対する期待として、主に以下の意見があった。
 - ・都市再生について、九大箱崎や荒尾は長い時間をかけて成果が出た取組であり、高く評価できる。
 - ・孤立死にならないように暮らせるような仕組みを整えていくことを考えたほうがいいのではないか。

(2) 議事(1)②について

- 機構の令和7年度における業務実績に係る大臣評価(案)について、事務局(国土交通省)から説明を行った。
- 外部有識者から、令和7年度におけるI1(1)「都市政策上の課題解決に資する都市再生の推進」に対する評価として、主に以下の意見があった。
 - ・コーディネート等の計画や事業が完了した後も、周辺地域等にどういった影響が出ているか継続的なモニタリングを実施し、地域経済や活力向上にどれだけ貢献できたかの検証を行ってほしい。
- 外部有識者から、令和7年度におけるI2(1)「UR賃貸住宅を活用したミクストコミュニティの形成」に対する評価として、主に以下の意見があった。
 - ・ミクストコミュニティや居住支援について、URが取り組んできたノウハウや経験を生かして、

居住支援法人や地方公共団体の担当部局に対して研修を行うなど、他団体への支援に取り組まれることを期待したい。

- 外部有識者から、令和７年度におけるⅠ３（２）「災害からの復旧・復興支援」に対する評価として、主に以下の意見があった。
 - ・地方公共団体への研修プログラムについて、ＵＲでしかできないような取組であり、高く評価できる。
- このほか、外部有識者から、評価の方法について主に以下の意見があった。
 - ・都市再生や震災復興など事業が長期にわたるものは、単年度では事業段階によって評価が難しいが、長期的に見るとインパクトがあり質的に顕著な成果といえるケースがあるのではないかと。評価の仕方において、中期目標期間を通じた評価をする等、工夫できる点があつていいのではないかと。

以 上